

# 気仙沼市立病院 薬剤科 概要紹介



# MESSAGE

- 薬剤科長 あいさつ -

当院は気仙沼地域の中核的病院として急性期から回復期、地域包括ケア体制へつながる医療を担っています。その中で私たち薬剤師は病院の理念である「患者さん第一の医療」の実現に向け、主体的にチーム医療に参加し、他職種と連携しより良い病院作りに努めています。また、当院では経験年数を問わず、若手薬剤師も様々な分野で活躍しています。薬剤師としての職能を生かし地域医療を守るため、私たちと一緒に働きませんか？是非、みなさんの応募をお待ちしております。



薬剤科長  
村上 由恵

## 病院概要

- ・病床数 340床 (一般336床、感染症4床)
- ・診療科 20診療科

災害拠点病院(宮城県地域災害医療センター) 救急告示病院  
宮城県地域周産期母子医療センター 臨床研修病院  
宮城県高次脳機能障害地域支援拠点病院

## 薬剤科・職員

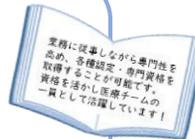
- ・薬剤師 14名 (うち派遣1名)
- ・会計年度任用職員 5名



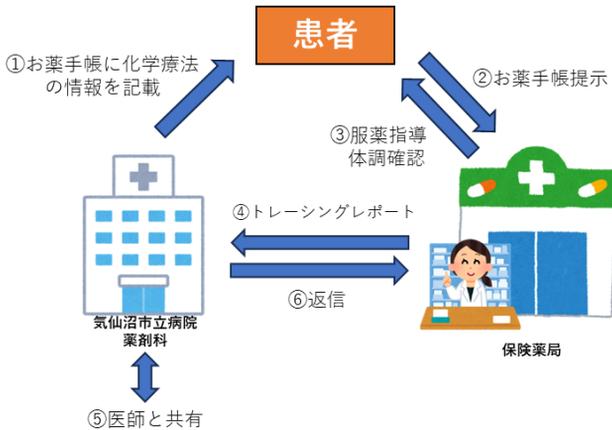
2024.1月時点

## 認定・専門資格

- 日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師 5名
- 日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療法士 3名
- 宮城県糖尿病療養指導士 2名
- 日本褥瘡学会 日本褥瘡学会認定師 1名
- 日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師 1名
- 日本アンチ・ドーピング機構 公認スポーツファーマシスト 1名
- 日本DMAT隊員 1名



## トレーシングレポートを用いた薬薬連携



化学療法部門では、必要な情報をお薬手帳に記載し、保険薬局へ情報提供しています。当院で使用している化学療法のレジメンはHP上で確認することができます。保険薬局の薬剤師が患者さんの副作用状況を聴取した際は、トレーシングレポートで病院に報告してもらい医師と共有しています。また月2回、医師・管理栄養士・薬剤師で化学療法を行っている患者さんを対象に、栄養カンファレンスを行っています。自宅での様子などトレーシングレポートの情報なども活用し、患者個々に合わせたきめ細かい栄養療法を支援しています。さらに定期的に保険薬局との勉強会を開催し、薬薬連携の強化に取り組んでいます。

## 奨学金返還支援補助制度

気仙沼市病院事業における医療人材の確保・定着促進施策の一環として、気仙沼市立病院に勤務する場合に、返還する奨学金の一部を補助します。

◆最大 480万円 (60万円×8年間)

○補助金額：申請年度内に返還した奨学金の額(上限額60万円) ※採用時期の都合により、申請年度における業務従事期間が1年に満たない場合は、その期間に応じた額となります。

○補助期間：8年間 ※補助金交付決定の時期が年度途中の場合は、補助金交付決定通知において定める月から96月間となります。

○対象となる奨学金：①独立行政法人日本学生支援機構奨学金 ②気仙沼市奨学金 ③気仙沼育英会奨学金 ④その他市長が認める奨学金(お問い合わせ下さい)

## 待遇、福利厚生

給与：気仙沼市病院事業管理規程に基づき支給。新卒者(大学6卒) 232,800円

手当：期末・勤勉手当、扶養手当、住居手当、通勤手当など

勤務：4週8休、原則8:30～17:15 (当番は19:00まで。週休日及び祝日 原則10:00～14:00)

休暇：年次有給休暇、結婚休暇、産前・産後休暇、育児休業、介護休暇など

# 薬局の風景、チーム医療への参画

## 調剤室



錠剤分包機や注射払い出し機など、各種システム機器を導入し機械化による業務の効率化を進めています。調剤時はi-Pod端末によるバーコード認証を使用し、薬剤の取り間違いを防いでいます。

## 化学療法



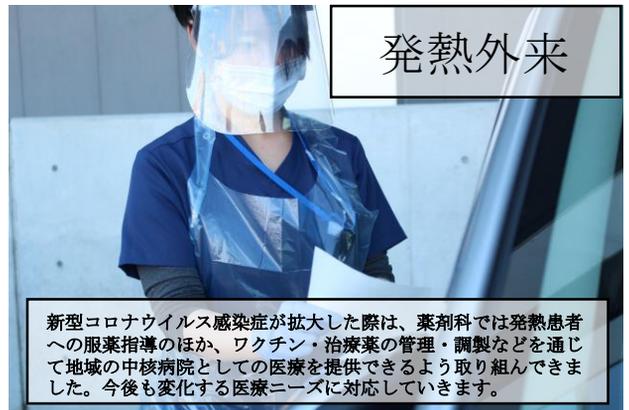
調製室は外来化学療法室に隣接しており、医師・看護師と連携を取りながら適切な化学療法が行えるよう支援しています。抗がん剤の調製はアイソレーター内で行うため、安全に調製することができます。

## NSTカンファレンス



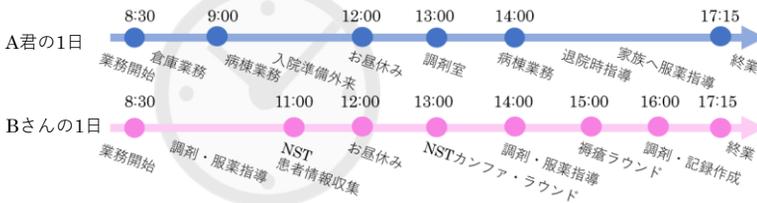
薬剤科には栄養サポートチーム専門療法士が3名在籍しております。週2回 NSTカンファレンスに参加し、適切な栄養療法が行えるようチームの一員として積極的に取り組んでいます。

## 発熱外来



新型コロナウイルス感染症が拡大した際は、薬剤科では発熱患者への服薬指導のほか、ワクチン・治療薬の管理・調製などを通じて地域の中核病院としての医療を提供できるよう取り組んできました。今後も変化する医療ニーズに対応していきます。

## 1日のタイムスケジュール



※夜間はon call 対応。夜勤・当直業務はありません

## 新人教育



はじめは調剤室からスタートし、調剤・鑑査の基本や、服薬指導、電話対応、疑義照会など病院薬剤師として必要な基礎を学びます。当薬剤科は若手～ベテランまで在籍しており、日常業務を通じて医療人、社会人として必要なコミュニケーション能力が養われていきます。その後、化学療法や病棟業務などを習得し徐々にひとり立ちしていきます。薬剤科スタッフ全員がプリセプターとなり、新人薬剤師をサポートしていきます。

## 先輩薬剤師からのメッセージ - 入職2年目 佐藤 賀寿正さん -



Profile  
宮城県 気仙沼市出身  
奥羽大学卒  
2022年 入職

～病院ならではのやりがい、フォローしあえる環境～

出身が気仙沼で、家族と一緒に暮らせることや奨学金返還支援補助制度に魅力を感じ当院へ入職しました。入職して1年目は主に調剤室で薬の勉強や調剤などの基本業務習得に取り組みました。分からないことは都度先輩薬剤師に指導頂きながら、抗がん剤の調製や薬品管理業務なども学ぶことができました。現在は主に病棟業務に従事し、整形外科・泌尿器科病棟を担当しています。患者さんの生活環境や家族構成など細かい背景を把握した上で医師へ処方提案などを行うように心がけています。患者さんから感謝の言葉を頂くと大きなやりがいを感じます。注射薬の調剤や抗がん剤の調剤・指導、他職種スタッフと関わることは病院で働くメリットだと思います。薬剤科は少人数ではありますが、皆でフォローしあえる環境です。業務外でも先輩薬剤師に遊びに連れて行ってもらったりしています。今後の目標は日病薬認定薬剤師や研修センター認定実務実習指導薬剤師の資格を取得することです。地方の病院ですが、設備が整っており稀少な医薬品に触れる機会も多いので様々な勉強・経験を積める環境だと思います。見学だけでも大歓迎ですので、是非一度足を運んでみてください！

## 休日の過ごし方 - ライフワークバランスのとれる職場です! -



天気の良い日は海へ行って釣りを楽しんでいます。職場からすぐ近くに海や川・山があり、四季折々の自然が身近に感じられ楽しめるのも大きな魅力です。仕事以外の時間も有意義に楽しみましょう！



仕事もプライベートも充実できるにや～

私は読書と猫が好きなので、休日は猫カフェで、たくさんの猫に囲まれます。読書を楽しんでいます！ライフワークバランスもとれるので、子育てとも両立できます。

気仙沼は宮城県北東端に位置する港町です。漁業が盛んで、美味しい旬のグルメや美しい自然を楽しむことができます。

気仙沼市立病院 薬剤科では14名(令和6年1月時点)の薬剤師が働いています、病院は数年前に新築移転しており綺麗な施設で、システム機器も整っています。

病棟・調剤・化学療法・入院準備外来などを行い、今後は更なる業務展開を検討しています。少人数ですが皆でフォローしあえるため休みも取りやすくプライベートも充実できます。

興味がある方は当院ホームページをご覧ください！



気仙沼市立病院

〒988-0181

宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢8-2

TEL:0226-22-7100(代表)

FAX:0226-22-9141



気仙沼市立病院

HP



薬剤科

公式Facebook



見学希望随時受付中 お気軽にお問い合わせ下さい